

「誠実・実行・こころざし！」

東伊豆町議会議員

＜文教厚生常任委員会＞

須佐まもる

「須佐まもる後援会」で検索しよう！



facebook いいね！ お願いします
Facebookページから情報をゲット！

イソブキ便り！ No.20 平成 31年 2月 1日発行

須佐まもる後援会 〒413-0302 静岡県賀茂郡東伊豆町奈良本 1496-18
Tel&Fax 0557-23-3501 / 080-3458-0925 E-mail:mamo@knossos.jp

バックナンバーはホームページで！ http://www.knossos.jp/giin_mamoru/face1.htm

区長さんとの懇談会

昨年12月からこの間、議会改革に関する視察や会議が多くありました。

まず、東伊豆町内9区の区長さんとの懇談会を開きました。議員の仕事の紹介と議会役割、議員定数や報酬にまで議論が及び有意義な時間でした。区長さんからは各区の課題、特に防災に関して現状が報告されました。(12/3)



定期的に懇談を開き、より良いまちづくりに生かしたいと思えます。また、意見の届きづらい皆さん、あまり政治に関心のない方とも意見交換をしていきたいと考えています。

伊豆市の定例会を視察

伊豆市の定例会を視察しました。いま、東伊豆町議会では一般質問の際、60分の時

間内で質問ができます。質問の件数については自由ですが(するかないかも自由)、質問回数については通告を1問と数え、当局とのやり取りで三回質問を繰り返すことができます。しかしこの形だと議論が尽くせないという意見があり、伊豆市のように時間内であれば何度でも繰り返せる形を検討しています。

また、伊豆市では質問時間のみ30分で数え、東伊豆町のように当局の答弁と合わせた60分と形態が違います。この辺も検討の必要があるように思います。(12/4)

高齢化率18.9%の町を視察

山梨県昭和町に日帰りに行きました。昭和町は県内でもいちばん小さな町で人口2万人ですが、驚くなにかれ高齢化率18.9パーセント！、30年前の水準です。

昭和町でいちばん目を引くのは「議会だより」の見やすさです。これまで県内の議会

広報コンクールで8回最優秀賞に輝き、平成23年度には全国1位になりました。

平成22年に議会基本条例を制定し、26年には政務活動費に関して条例で定めました。月5千円ですが、議員の活動を支える資金になります。(12/15)



私が一番注目したいのは、自らの手で条例を作り上げようという試みです。地方議会といえども立法府は立法府。心意気は大切にしたいものです。

消防団員65名減員へ

東伊豆町の消防団の出初式に参列しました。総勢300人の団員が整列し表彰と感謝状の贈呈がありました。この時期、毎晩「カンカンカン」と夜警に回っている消防団員の姿に頭が下がります。

式典のあとは稲取漁港前で

パレードと祝賀放水が盛大に行われ消防の一年が始まりました。

昨年夏に、奈良本地区で4名が亡くなる火災と1名が亡くなる火災がありました。冬場はもちろんですが、猛暑が影響してか夏にも火災が多発しています。消防署が統合され駿東伊豆消防に集約され見えないところで町民の不安が募っています。

太田団長の式典の謝辞のなかで、5か年計画によって31年度は消防団員330名から265名へ減らすと述べられていましたが、じくじたる思いがあるように感じました。(1/5)



消防団員を減らすという現実。少子化の波なのか効率化を図るのかはわかりません。議員は町民の声を聴き町政に反映させないといけない。年始から考えさせられました。

★後援会員募集中です！



「須佐は何をやっているのか！実績はあるのか！」

はい、こちらが一般質問での須佐の実績です。
これまで18回の定例会で64問の一般質問をしました。



	訴えたこと（一部）	町長の答弁、検討	実績
平成 23 年の 一般質問	大規模災害に備え、国道・県道に続く第三の道建設は（H24. 30年にも同様の質問）	いろいろなルートを探索している（H23） 湯ヶ岡=赤川線を延長して、トンネルで伊東の中大見線に結ぶ構想（H24）	町が国県への陳情を実施、予算規模の拡大 トンネル構想が現実味（H30）
平成 24 年の 一般質問	モニターツアーを実施するなどして移住定住を推進したらどうか（26年にも質問）	協議会を立ち上げる予定でいる	平成 28 年、古民家を改修してお試し居住施設を設置、実際に移住した人も
	大川・北川の義務教育児童の通学費が本人負担になっている（H25. 26年にも質問）	理解できるが他の地域の現状も調べる	平成 30 年度の熱川小、大川小の統合に合わせスクールバスを導入、公共交通で通う生徒の半額を補助
平成 25 年の 一般質問	10 年以上途絶えている「大島航路」を復活させ、景気の活性化や防災の強化を	防災面で重要、ジェットfoil船が停泊できるよう担当部署と話し合う	平成 28 年 1 月に大島つばき祭り期間中の運航が実現
	農道太田線の拡幅延長に合わせ、通学路整備を	農道は県の事業だが町の単独事業でやりたい	平成 30 年、拡幅完了と同時にグリーンベルト（歩道）を整備
	稲取キンメなどブランド商標をすすめ、地域の特産品をアピールすることが重要	稲取キンメは申請中と聞く	議会で取り上げられたことで「稲取キンメ」の商標が加速化
	町職員採用の受験資格で住所特例撤廃を	入ってくる人よりこの町の人を優先させたい	平成 29 年度の採用から住所規定を撤廃
	「地域おこし協力隊」制度の導入検討を	定着しない例もある	平成 28 年度より導入、現在、一期生 2 人が 3 年満期を迎え、地域おこしやオリーブ栽培などで実績を残す
路線バスに接続するコミュニティバスの導入で買物難民をなくす（H26. 30年にも質問）	考えていない（H25） 前向きに検討したい（H26）	ニーズの把握に努め、先進事例の検証をしていく（H30）	
平成 26 年の 一般質問	公募型補助金制度の導入でまちづくりの強化を（H30年にも質問）	財政上困難（H26） 次年度から実施予定で検討（H30）	平成 31 年度より実施予定、予算規模 150 万で一件の上限枠 50 万の予定
	本格的なふるさと納税制度の導入は（H30年に現状を質問）	制度が疑問、返礼品は礼状や広報の「ひがしいず」の送付（H26）	平成 28 年度より本格導入で 2.6 億円、29 年度は 1.8 億円の実績
	収入減のなか、入湯税を子どもからも徴収したらどうか（H30年にも質問） ※一般的に入湯税は中学生以上から徴収するが自治体裁量	考えていない、観光客が減る（H26） どういう形か未定だが検討している（H30）	検討が進められ、近いうちに実施予定 （ちなみに伊東市では小学生にも課している）

一方で、まだ実現していない課題もあります。オリンピックに向けた活性化、ボランティアガイドの育成、ジオパークのPR、まちづくり条例の制定、大川グランドホテルの撤去、企業版ふるさと納税への取り組み、そして、私たち東伊豆町民の財産である築城石を国の文化財へ！これらの課題に取り組んでまいります！